

# 一般質問発言通告書

発言順位	7番
------	----

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和 6年 9月 5日

三島市議会議長 堀江 和雄 様

三島市議会議員

5番 鈴木 文子

質問事項 1	災害時等に命を守る取り組みについて
具体的内容	<p>8月8日宮崎県の日向灘沖を震源とする震度6弱の地震に対し、「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)」が気象庁から初めて発表された。また、台風10号による甚大な被害状況等を踏まえ、災害時市民の命を守る取り組みについて下記の通り質問を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 住宅の耐震化の推進・現状と課題今後の取り組みについて<ol style="list-style-type: none"><li>① わが家の専門家診断の実績 ②木造住宅耐震補強の実績 ③補強プランの作成支援を</li></ol></li><li>2 感震ブレーカー設置推進について</li><li>3 スフィア基準の理念を踏まえた避難所環境の確保運営について</li><li>4 「被災者生活再建支援システム」導入について</li><li>5 応急手当ての方法を学べる「日本赤十字社作成動画」の活用推進について</li><li>6 AEDに三角巾を配備すべきと考えるがどうか。</li><li>7 災害時の協力井戸の活用について</li></ol>
質問事項 2	加齢性難聴への取り組みについて
具体的内容	<p>加齢によって気力・体力が落ち、要介護の一步手前の状態にあることを「フレイル」という。本市において、身体的フレイル対策は実施されている。今回、加齢性難聴の早期発見に向け、聞こえの状態などの相談に無料で応じる「ヒアリングフレイルチェック」の必要性を感じる。</p> <p>また、難聴になるとコミュニケーションが円滑にできなくなる。難聴に早く気づき、補聴器を使用するなどの対策をとることは、認知症予防にも繋がる。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 言語聴覚士等によるヒアリングフレイルチェックの実施について</li><li>2 市役所の相談窓口対応に軟骨伝導イヤホンの導入について</li></ol>
質問事項 3	しずおかバーチャルスクールの周知と活用について
具体的内容	<p>静岡県内の不登校の子どもが1万人に迫る中、県教育委員会は子どもの学びを支援しようと学校以外の新たな学びの場の1つとして、1人1台端末でアクセスできるインターネット上の仮想空間、メタバースを活用した「バーチャルスクール」の設置を計画しています。8月よりバーチャルスクールの周知を行い、令和7年1月より試行運用を開始。令和7年4月より本格運用開始の予定です。</p> <p>文部科学省の調査によると、不登校児童生徒は10年前の2倍以上に増えています。令和4年度では、県内の小学生の1.84%、中学生の6.30%が不登校で、そのうち約4割が支援につながっていません。不登校で現在学校には通えない子どもたちが、バーチャル空間に集まって、ともに遊んだり、学んだり、社会とつながる一步を踏み出すことは重要と考えます。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 本市におけるバーチャルスクールの周知と活用への取り組みについて</li></ol>